

【共通認識】 K.CAT が考える “歩きたくなるまちづくり” 基本方針 評価の視点
 【基準情報】 写真とデータで見る中心市街地の現状

【グループ発表】

	青組 (池上グループ) 青海・沖・竹村・中前	黄組 (木谷グループ) 山岸(淑)・吉井・澤山	赤組 (北原グループ) 清水・宮岸・山岸(勇)・山道 宮岸さんは法事で欠席
案の パターン	目標設定まちづくり誘導型	スクラップ&リサイクル・ビルド型	オーソドックスなストック活用型
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ・無味乾燥なビジネスビル、点在する歴史・文化ゾーン、集積しつつあるが動線が途切れている商業ゾーン、更に郊外化する居住地を一体的に再生する方策 ・郊外型都市との差別化 ・日本にない県庁所在地都市のモデル 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路 建物といった歩行形態だけでは変化に乏しい ・車と人が輻輳する現在のまちなかは歩行を楽しめる空間とはいいがたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵地区は横安江町側と尾張町側がポイント ・中心市街地の歴史・文化・商業機能等の都市機能は、そのアクセス交通の脆弱さから、回遊性を高める相乗効果が発揮できない状況
提案の視点	基本的認識 = 都心の魅力を高める要素は、「歩ける環境」「都心の賑わい」「アクセス交通」「金沢らしさ」の4つ 提案の視点 = 4要素の現状を評価し、魅力を高める下記提案について、その視点(各要素の改善方針)を明確にする		
提案の視点	究極の歩ける街並みのモデル都市宣言 片町～武蔵間の国道を「緑に囲まれたドーム型の動く歩道と自転車・歩行者専用道」に衣更え (短・中・長期のステップアップの視点が必要)	既存の集積ポテンシャルを活用して魅力を高め、人を集める 安全。安心でかつ多様な楽しみを生む新しいまちなか歩行の創出 実現可能な改造と派生的に効果の広がるしかけの提案	目的別に歩き方がある 通勤者のニーズ 昼間の買物客ニーズ 休日・観光客ニーズ 武蔵地区のポテンシャル・回遊性向上
コンセプト	緑溢れる地球環境を最重視した歴史・文化と融合した職・住・商接近型の「歩きたくなる」モデル都市の創造	縦町界隈から始めよう！回遊性の向上	空間確保による歩行者と自転車の復権「ゆったりムサシ」(大河ドラマ効果)
提案方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境を最優先に考えた街作りのモデル都市 ・歴史文化ゾーンを内包した職場、住居、商業モールが近接したバランスの取れた街並み ・既存の街並みを大きく変えない都市計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定空間から車の排除と駐車場の外縁部移設を行い、新たな安全安心な商業空間に改造 ・複雑な歩行経路(迷路)の創出 ・バスターミナル整備を合わせた公共交通機関の強化 ・5タウンと武蔵の移動の多様性と時間距離の短縮 ・南町区間の段階的改造 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車のネットワーク化を図るため、細街路の歩行者・自転車専用道化も積極的に進める ・自動車の受け皿は郊外P&Rによる ・金沢駅～むさしは、公共交通の充実を図るべく、LRTを導入(浅野川線の延伸化?)
具体的提案	武蔵・片町間の国道を「緑に溢れた雨天対応型の動く歩道と自転車・歩行者専用道」に衣更え 散歩しながらショッピングや歴史・文化探訪ができる街 緑溢れるビジネスパーク(ビルへのアクセス用の公共地下道路の整備)	5タウンズの魅力・集客力アップ ・片町の交通ターミナル整備 ・プレーゴの拡大 ・歩行者回遊セル(都心流入規制) 日銀の移転とバスターミナル新設による拠点形成 100円バスによる武蔵-5の連絡強化 南町オフィスビルの職住混合化 武蔵のスカイウオーク(3Fで連結)	細街路の歩行者・自転車専用道化 歩行者・自転車ネットワーク 都心居住 郊外P&R 金沢駅～むさし西の平面軌道系 横安江町アーケード残し、レトロな街へ 極楽橋の復活 ムサシ100憩

【討論会】各グループ代表者3人+評価委員3人

評価委員は関係行政機関や市民団体等から選抜(中立な立場での評価)

コメンテーター 神長耕二国土交通省金沢工事事務所長

評価委員 坂本英之金沢美大助教授、萩原扶未子(株)G&S代表、谷口昌宏(株)オフィスタニグチ取締役社長

評価委員により『K.CATが考えるまちづくりのあり方・方針』(提言)の観点等から評価 グッドデザイン

歩ける環境	都心の賑わい	アクセス交通	金沢らしさ	実現可能性
歩行空間	集客力	交通手段の多様性	あなたが考える金沢らしさ	技術力
景観	楽しい	環境へのやさしさ		期間
物語性(歩くしかけ)	長く滞在したい	交通円滑化		
バリアフリー性(天候等)	何度も来たい			

青 組

コンセプト	水と緑に囲まれたエコシティの実現 エコを最重視し歴史文化と融合した、職・住・商近接型のセントラルシティの創造
提案の要旨	(1) 環境にやさしい緑と水と風にあふれるまち 動く歩道 / 自然エネルギー / 屋上・壁面緑化など (2) 時空を越えた、職・住・商が融合するまち トランジットモール / 住宅区と繁華街を結ぶトリムバス (3) 北陸のファッション・文化・情報の発信基地となるまち 「全国初」をアピール / テーマパーク型セントラル・シティ、エコ都市宣言 / 若者が集いシルバーに優しいまち

黄 組

コンセプト	5タウンから始める迷宮のまちづくり 戦略的拠点開発と、順次増殖する迷路に彩られた商(show)空間による、いつも好奇心をくすぐる迷宮のまちづくり
提案の要旨	(1) 商(show)空間づくりの戦略 プレーゴの増殖(駐車場からの転換) / 映画街の再整備 / キャノピー / 武蔵スカイウォーク / 南町の職・住・商化 / ビル内・敷地内・用水沿い・空中通路による迷路展開など (2) 移動・交通の戦略 再開発バスターミナル・バスベイの新設 / 交通セル化 / フリンジ駐車場 / 5タウンズ むさしの多様な移動など

赤 組

コンセプト	ゆったり金沢 ゆったりした生活がおくれる、21世紀型都市生活のモデル地区の創造
提案の要旨	(1) ゆっくりムサシ 金沢チューブ / ムサシ 100 憩 / いつか行く道横安江町 / 極楽橋の復活など (2) あんしん長町 あんしん居住モデル地区など (3) 県庁跡地提案、「お松の湯」と「迎賓館」 (4) ポスターギャラリーと彫刻の1/10里塚

